

6月 は 環境月間 です



翠雲公園に咲く八重桜

あなたは環境にやさしい行動を
実践していますか？

6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。これを受けて日本では1991年から6月を「環境月間」と定めて、全国各地で環境に関する行事や啓発活動を行っています。

自然豊かな北秋田市と美しい地球を子孫に引き継いでいけるよう、一人一人が環境問題に目を向け、みんなで環境に優しい行動を実践していきましょう。

ごみの不法投棄は立派な犯罪です

今年も4月17日に各自治会や町内会を中心に春のクリーンアップ活動が行われました。まちをきれいにするために活動している人がいる一方で、ポイ捨てや不法投棄を平気で行う人もいるのが現状です。粗大ごみの不法投棄はもちろん、タバコやガム、犬や猫のフンも放っておくと不法投棄になり、法律や条例で禁止されている行為です。放置されたごみは環境にも悪影響を及ぼしますので絶対にやめましょう。一人一人がマナーを守り、ごみを正しく分別して出すことが、快適できれいなまちづくりの第一歩です。



ペットも環境の時代です

道路や公園、私有地などでフンの後始末をしなかったり、放し飼いによる被害など、犬や猫などのペットに関する苦情が多く寄せられています。飼い主にとっては大切なペットでも正しい飼い方をしなければ地域で嫌われてしまいます。人とペットが住みよい環境で楽しく暮らせるよう、飼い主一人一人がマナーをきちんと守りましょう。

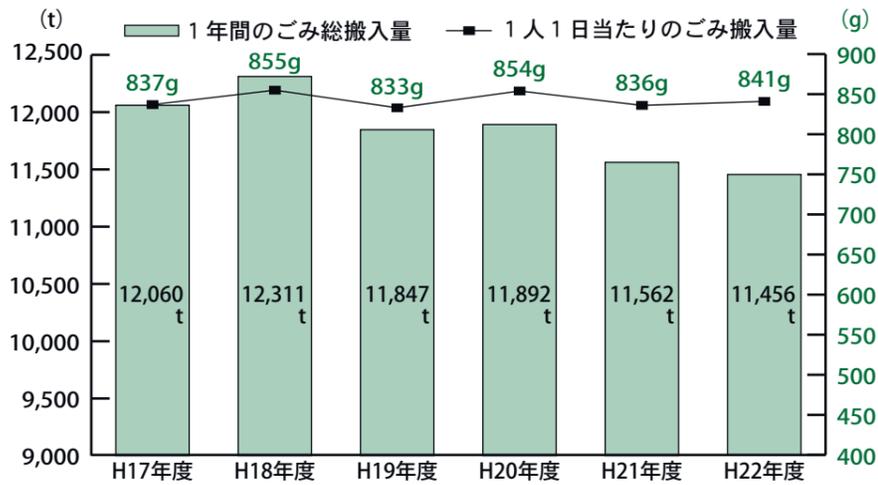


ごみの減量化に更なるご協力を

ごみの減量化が叫ばれている中、全国的に見ても、一人一日当たりのごみ排出量は減る傾向が見られます。

北秋田市でも、平成18年度をピークに減る傾向が見られます。市民のみならず一人ひとりが、日ごろの生活様式の中に、ひとつでも多くの「無駄」を発見し、分別及びごみの減量化に更なるご協力をお願いします。

クリーンリサイクルセンターへのごみ搬入量推移



※1人1日当たりのごみ搬入量 = (家庭ごみ収集量 + 事業者等による搬入量) ÷ 人口 ÷ 365日

＜参考＞■1人1日当たりのごみ排出量 (g/人日)

平成21年度実績	全国平均	994 (g/人日)
	秋田県平均	983 (g/人日)
	市平均	836 (g/人日)

■秋田県では、1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度には890 (g/人日)に削減する目標を掲げています。

「使用済小型家電 (コデン) の回収にご協力ください。」

使用済小型家電、特にハイテク機器には、レアメタルなどの産業に必要な金属がたくさん含まれています。県ではレアメタルのリサイクルのため、コデンの回収試験を実施しています。次の施設に回収BOXを設置しておりますので、リサイクルにご協力ください。

■回収する使用済小型家電リスト

- ① サイズ 15×25cm以下
 - ② 種類 携帯電話、デジタルカメラ、CDプレーヤー、リモコン、携帯ゲーム機、テレビゲーム機、電源ケーブル など
- 回収BOX設置場所
北秋田地域振興局、いとく鷹巣南店、いとく鷹巣ショッピングセンター

「節電・省エネをお願いします。」

東日本大震災により、太平洋側の多数の発電所に大きな被害が発生し、東北電力管内における今夏の需給見通しでは、ピーク時に70〜170万kw程度、昨年度並みの猛暑を想定すると250万kwの電力供給が不足する恐れがあるとされています。

一人一人の節電や省エネが大規模停電の回避や計画停電の縮小につながりますので、ご理解とご協力をお願いします。

たけのこ採り、行き先告げて、無理せず

たけのこ採りのシーズンとなりました。県内では昨年、春の山菜採りで44件の遭難事故が発生しており、6名の方が亡くなっています。遭難すると家族へ心配をかけるだけでなく、捜索に多くの人員を要するなど、多大な手間と費用がかかることとなります。(捜索は原則有料です)

【遭難しないための心得】

- ◆入山する場所や駐車場所、帰宅予定時刻を家族へ知らせる
- ◆単独での入山や午後からの入山は避ける
- ◆食べ物、雨具、着替え、時計、ライター、光る物、発煙筒などを持ち目立つ服装で入山する
- ◆クマ等の対策として、ラジオ、鈴などで音を鳴らしながら行動する
- ◆迷ったときは歩き回らず、体力の消耗を避けるため、目標物周辺 (大木の下や岩陰) で救助を待つ



◎お問い合わせ 生活課地域推進班 ☎62-6628